

01 開催概要

日時：2018年9月15日(土) 10:00~12:30
会場：寝屋川市役所2階会議室
参加者数：41名

この市民ワークショップのねらいは、市民の皆さんと楽しい時間を過ごしつつ、講演や他の参加者とのやりとりを通じて新しい発見や、市政への御意見をいただき、より良い総合計画づくりに活かしていくことです。その様子を簡単に御紹介いたします。



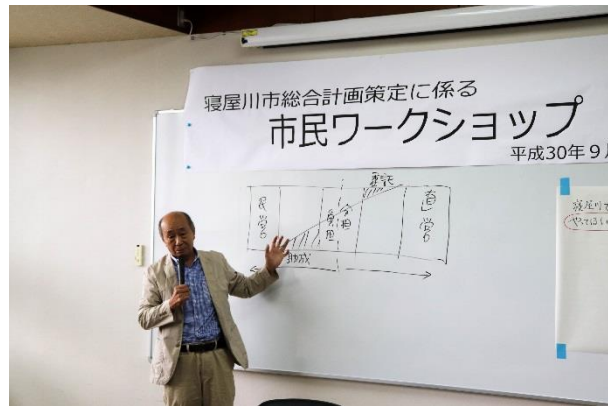
▲ たくさんの方に御参加頂きました！

02 中川幾郎名誉教授による講演「やさしく自治を語り合おう」

市からのあいさつと総合計画の説明のあと、帝塚山大学の中川幾郎名誉教授から、「やさしく自治を語り合おう」と題して講演をしていただきました。

地方自治には、役所や議会などを通じて集団で行っていく「団体自治」と、地縁やテーマに応じて集まった人たちで行う「住民自治」の2種類があります。

皆で一緒によりよい未来を描いていくためには、総合計画などを通じて、住民が自治の一翼を担い、積極的に参画することが大事であるというお話でした。



▲ 中川幾郎名誉教授による講演の様子



▲ 講演内容を記録したグラフィック(絵)

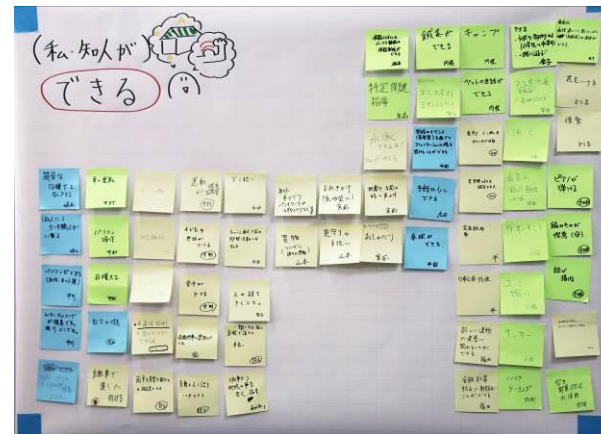
03 ワークショップの時間 「できる・やりたい・やってほしい」

次に、集まった市民の皆さんと、ワーク(参加型の議論)の時間を過ごしました。具体的には、ふせんを使って「(私・知人が)できること」「(寝屋川市で)やりたいこと」「(寝屋川市で)やってほしいこと」を一人一人に書き出して頂き、3人程度のグループで共有した後、模造紙に貼り付けていきました。



▲ 3人グループでの共有の様子

模造紙に貼り付けられたふせんを見ながら、司会者がそれを書いた人にインタビューをしていきます。



▲ 「できること」の模造紙

40人の皆さんの「できること」「やりたいこと」「やってほしいこと」が出てきました。それを見ながら他の人の「やりたいこと」を、身近な人の「できること」で解決できないかを対話をしながら検討していきます。また、「やってほしいこと」は市民の皆さんが感じている寝屋川市の課題であると同時に、市への役割期待でもあります。皆さんの意見がどの課題に集中するかを見ることができます。

04 結果のまとめ・講評・振り返り



参加者のふせん(例)

- 【できること】日曜大工/パソコン/高齢者の外出支援/おしゃべり/ごみ拾い/手話/あいさつ他
【やりたいこと】空き家・部屋の活用/SNSによる情報発信/高齢者との交流/寝屋川をきれいにする他
【やってほしいこと】傷んだ道路の整備/市のイメージアップ/浸水対策/サークル活動ができる施設他

「空き家の活用」は日曜大工・DIYが得意な人と組めば、「情報発信」はパソコンが得意な人と組めば、うまくできるかもしれません。一方、市のイメージアップや、防災対策は、市民と寝屋川市がうまく協力しないとできないものです。

中川名誉教授に最後に講評を頂きました。「寝屋川市は人材が豊富だということがわかりました。これからは、市民が表にどんどん出てくるのが大事。特にコーディネートができる人が重要で、皆が持っている力が何倍にもなります。人の話を聞く力も重要。仲間をうまくつなぎながら素敵な社会を作っていってほしいです。」

参加者の振り返り

- 一人一人の力が市を変えることを実感した。
自分ができるどんな小さなことでも誰かの役に立つことがわかった。
気づいたことを少しずつ行動に変えていかなければならない。